



昔

Past

Now

今



折元立身 - 昔と今

TATSUMI ORIMOTO - Past & Now

平成30年8月4日(土) → 9月16日(日)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：月曜日

観覧料：大人 800円、高大生 550円

※中学生以下無料、前売りは各200円引、ちゅーピーくらぶ会員と団体(20名以上)は各100円引

※前売券販売所：中国新聞販売所(取り寄せ)、中国新聞備後本社、啓文社各店、JR尾道駅観光案内所

※70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料

主催：尾道市立美術館、中国新聞備後本社

後援：広島県、尾道エフエム放送、ちゅーピーCOMおのみち、エフエムふくやま

企画協力：(合)アート・マネジメント・しまなみ



1



2



3

パフォーマンス・アーティストとして現代アートの前線で40年以上にわたって国際的に活動してきた折元立身。平成13年(2001)の第49回 ヴェネツィア・ビエンナーレでも紹介され、日本を代表するアーティストです。

昨夏には、顔にパンをつけて、歩きまわる「パン人間」の路上パフォーマンスと「57人の鳥のおばあさんのランチ」のイベントが、尾道市内で開催され話題となりました。折元の作品は、様々な人々(世界各地の人、自身が介護する母、沢山のおばあさんとのランチ..)やANIMAL-ARTにまで及び、生きとし生けるものとのコミュニケーションをアートにするというオリジナリティに溢れた世界が繰り広げられています。

本展では、1980年頃からの、インド・タイなどのアジアの各地で行った「腕輪をはめる」「耳を引く」などのパフォーマンスや「パンを運ぶ」などのCarryingシリーズ、それに対して、それ以降の「パン人間」や日本での母の介護から生まれた「アートママ」など、折元芸術の多様な表現を写真・オブジェ・ドローイング等で紹介します。

これまで観る機会の少なかった昔の作品から日常で生み出されたユニークで愛情溢れる今の作品までの展覧を通じて、折元立身は、あなたにコミュニケートします。



4



5



6



7



8

1. イベント：コミュニケーションアート(うで輪をはめる)、(タイ)、1983 2. イベント：コミュニケーションアート(耳を引く)、(ベナレス、インド)、1987 3. パフォーマンス(モーニングカフェのパン人間)、(カトマンズ、ネパール)、1994 4. パフォーマンス(尾道の28人のパン人間)、(Tatsumi Orimoto Project, Hiroshima 2017、広島)、2017 5. イベント(生口島での57人の鳥のおばあさんのランチ)、(Tatsumi Orimoto Project, Hiroshima 2017、広島)、2017 6. アニマルドローイング「Rabbit + Craker + TATSUMI」、T.O. 2015 1/5 7. カラードローイング、T.O.1988 8. ペンシルドローイング ACTION IN THE BATH、T.O.2001

会期中イベント

1. 特別トークイベント

「折元立身さん、自身を語る。」

8月4日(土)

午後2時～(1時間30分程度)

対象：一般。参加無料、申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

場所：尾道市立美術館 2F ロビー

2. ギャラリー・トーク ※当館学芸員が担当

8月12日(日)、9月2日(日)

両日とも午後2時～(40分程度)

対象：一般。参加無料、申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

3. わいわいがやがやおしゃべり鑑賞会

8月19日(日)、9月9日(日)

両日とも午後2時～午後3時まで

対象：中学生以下。参加無料・申込み不要。付添いの方1名は無料で入館。

内容：子どもたちを対象にした鑑賞会です。鑑賞資料などをもとに、楽しくおしゃべりしながら作品鑑賞します。

【表面最上段左から】・イベント：コミュニケーションアート(耳を引く)、(ベナレス、インド)、1987 ・イベント：コミュニケーションアート(耳を引く)、(スリランカ)、1985 ・イベント：コミュニケーションアート(うで輪をはめる)、(タイ)、1982 ・イベント フォト(髪を引く日本人)、1984年12月1日(1985年真木画廊個展に展示、東京) 【2段目左から】・イベント フォト(耳を引く日本人)、(神奈川県県民ホールギャラリー、横浜)、1981 ・イベント(バスタブ(浴槽)を運ぶ)、(パワリストリート、ニューヨーク) ・イベント(エントツを運ぶ)、(御茶ノ水、東京) ・イベント(パンを運ぶ)、(芝浦、東京) 【3段目左から】・イベント フォト(カレンダー ママ)、(川崎市市民ミュージアム、川崎)、2011 ・パフォーマンス(2人の白衣のパン人間)、(ギャラリー K、東京)、1991 ・パフォーマンス(“波止場での30人のパン人間”、ベイサイドプレイス博多)、(ミュージアムシティ天神、福岡)、1992 ・パフォーマンス(パン人間の息子+アルツハイマーの母)、(ギャラリー現、東京)、1996 【最下段左から】・イベント(アートママ：スモールママ+ビッグシューズ)、(川崎)、1997 ・アートイベント(母と息子)(Tatsumi Orimoto ART-MAMA + Son September 24、2008)、折元邸、川崎、2008 ・パフォーマンス(子ブタをおんぶする)、外山ファーム、下妻市、茨城、2012 ・パフォーマンス(2羽のアヒルとのアクション)、青山|目黒、東京、2014



ご利用案内：

◆JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(1番のりば)で「長江口」下車、千光寺山ドライブウェイで「千光寺公園」へ。(ドライブウェイのりばで、「往復乗券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。

◆お車の方は千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。

◆JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

展覧会情報など随時更新中!!

尾道市立美術館公式 twitter @bijutsu1



尾道市立美術館
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内 Tel.0848-23-2281
https://www.onomichi-museum.jp/